

## 施策調査専門委員会の検討状況について

### 【 第43回施策調査専門委員会（H30. 6. 14） 】

- <議題>
- 1 特別対策事業の点検結果報告書(平成29年度実績版)について
  - 2 県民参加型ワークショップの検討状況報告等
  - 3 第3期以降における経済評価について
  - 4 H31年度モニタリング見直し(環境科学センター検討事項)
  - 5 水源環境保全・再生施策の指標検討について

### <主な意見(要旨)>

#### 【 議題1 】 特別対策事業の点検結果報告書(平成29年度実績版)について

- 1 点検結果報告書の作成スケジュール
  - 点検結果報告書の構成は変更となったが、情報を出さなくするわけではなく、削除したものは県のホームページなど別の形でアクセスできるようにする。
  - ホームページに掲載となったものは、紙資料から削除するのではなく、「このホームページをご覧ください」やURLを貼り付ける等の対応を行う。
- 2 第3期計画の特別対策事業について
  - 第3期から、特別対策事業になった「3 土壌保全対策の推進」、「8 生活排水処理施設の整備促進」についての進捗状況の確認をした。
- 3 平成29年度の実績確認等
  - 今回は、平成29年度実績、平成30年度実績予測をのっけているが今後は、単年度のみ載せることとする。

#### 【 議題2 】 県民参加型ワークショップの検討状況報告等

- 開催候補日は12月1日(土)、または12月8日(土)。
- 会場は①厚木、②橋本が候補地。
- 中間評価(第2回)をとりまとめる際に、過去十数年をまとめることになるので、できるだけ広く県民から意見を集約する目的で開催する。
- 2部構成とすることとし、前半はこれまでの事業紹介を参加者に伝えその後に、分科会に分かれ、最終的な指標評価や県民会議の仕組み等個別のテーマに分かれグループで議論する。

#### 【 議題3 】 第3期以降における経済評価について

- 経済評価の方法は代替法とCVM等があるが、事務局案では、第4期から代替法で評価する。
- 代替法で全てを評価することは困難である。
- 最終的に調査した報告を出す時期は、第3期の中間評価(第2回)なのか、第3期の終わりの報告書なのか、第4期で出す20年が終わった際に出すのか検討が必要である。
- 次回の施策調査専門委員会で時期について決めていきたい。
- 代替法が好ましい方法ではないかと思うが、CVMを使うという選択肢も残しておき、手法を検討していくことにしていきたい。

- 第3期中に経済評価の方法等の細かいところを決めて第4期から経済評価を行うというスケジュールが現実的ではないか。

**【 議題4 】 H31年度モニタリング見直し（環境科学センター検討事項）**

- 河川モニタリングへの環境DNA調査の導入検討について。今年度は試験的に行い来年度本格始動していきたい。
- 河川生物モニタリングの新しい手法。
- 検討の結果、導入の方向で決定した。

**【 議題5 】 水源環境保全・再生施策の指標検討について**

- 最終的な評価をどのようにするか具体化の部分を事務局で検討しているところである。
- 最終的な指標はすぐに決められるものではないので今後も検討していくこととした。
- 今回の施策調査専門委員会では、結論が出ないので委員長が項目案を作成したので各委員に対して意見照会をすることとした。